年間授業計画

足立東　高等学校 令和7年度（2学年用）　教科　　家庭　　科目　家庭総合

教　科：　家庭　　科　目：　家庭総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　1　組～　　6 組

教科担当者：（1組：井上・松岡）（2組：井上・松岡）（3組：井上・松岡）（4組：井上・山上）（5組：井上・松岡）（6組：井上・松岡）

使用教科書：（ 教育図書　未来へつなぐ家庭総合３６５ ）

教科の目標：

【知識及び技能】　生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　生活の問題や課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて論理的に解決策を構想し実践するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　他者と協働し、よりよい社会の構築のために、生活文化の継承、自分や家庭・地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付ける。	生活の問題や課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて論理的に解決策を構想し実践するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	他者と協働し、よりよい社会の構築のために、生活文化の継承、自分や家庭・地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A編 第4章　高齢期の生活と福祉 【知識及び技能】 ・高齢者の心身の特徴、高齢者福祉の現状と課題、制度について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者の生活を支えるために、家族・地域・社会の役割を具体的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者と協働し良好な人間関係を構築しようとする。	・指導事項 実践的・体験的な学習活動を充実するとともに、生活の中から問題を見いだしその課題を解決する過程を重視する。 協働学習を多く取り入れ、他者理解、他己評価による自己理解や自己表現の伸長を促す。 ・教材 生徒の学力に即した教員作成プリントや、ゲーム性のある教材も取り入れる。 ・一人1台端末の活用 調べ学習、レポート作成、発表資料作成などで活用する。	【知識・技能】 ・高齢者や高齢期について理解している。 【思考・判断・表現】 ・高齢者を支えるための、家族・地域・社会の役割を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業を休まず、授業準備している。 ・他者と協働し良好な人間関係を構築している。	○	○	○	14
	A編 第5章　共生社会と福祉 【知識及び技能】 ・共生社会と福祉について現状と課題、制度について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・共生社会について、家族・地域・社会の役割を具体的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者と協働し良好な人間関係を構築しようとする。		【知識・技能】 ・共生社会と福祉について現状と課題、制度について理解している。 【思考・判断・表現】 ・共生社会について、家族・地域・社会の役割を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業を休まず、授業準備している。 ・他者と協働し良好な人間関係を構築している。	○	○	○	12
2学期	C編 第1章　生活における経済の計画 第2章　消費生活と意思決定 【知識及び技能】 ・家計のしくみと社会の関わりを理解する。 ・消費行動における意思決定、様々な契約、多重債務などを理解する。 ・消費者保護のしくみや、消費者問題の原因と対策について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・家計について具体的にシミュレーションすることができる。 ・将来の経済的なリスクを調べ、資産形成についてまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者と協働し良好な人間関係を構築しようとする。	・指導事項 実践的・体験的な学習活動を充実するとともに、生活の中から問題を見いだしその課題を解決する過程を重視する。 協働学習を多く取り入れ、他者理解、他己評価による自己理解や自己表現の伸長を促す。 ・教材 生徒の学力に即した教員作成プリントや、ゲーム性のある教材も取り入れる。 ・一人1台端末の活用 調べ学習、レポート作成、発表資料作成などで活用する。	【知識・技能】 ・家計のしくみと社会の関わり、消費行動や契約のしくみなどについて理解している。 ・消費者保護のしくみや、消費者問題の原因と対策について理解している。 【思考・判断・表現】 自身のライフプランとマネープランの関連について考え、リスク対策を踏まえてまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業を休まず、授業に必要な用具を準備している。 ・消費行動に興味・関心を持ち、積極的に取り組んでいる。 ・他者と協働し良好な人間関係を構築している。	○	○	○	8
	B編 第3章　住生活と住環境 【知識及び技能】 ・住宅の役割や住環境について科学的に理解している。 ・安全で快適な住生活を送るための知識や環境にも配慮した住生活について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・住生活の設計に必要な情報を収集・整理し、計画をたてることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・得た知識・技能で実生活の充実向上を図る。 ・他者と協働し良好な人間関係を構築しようとする。		【知識・技能】 ・住宅や住環境ついて理解している。 ・安全で快適な住生活を送るための知識や環境にも配慮した住生活について理解している。 【思考・判断・表現】 ・住生活の設計に必要な情報を収集・整理し、計画をたてている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業を休まず、授業に必要な用具を準備している。 ・住生活に興味・関心を持ち、積極的に取り組んでいる。 ・他者と協働し良好な人間関係を構築している。	○	○	○	8
3学期	B編 第1章　食生活と健康 【知識及び技能】 ・食と健康の関わりについて知り、食事の大切さを理解する。 ・栄養素の特徴と、それを多く含む食品について理解する。 ・日常食の調理について、栄養バランス、食材の選択、安全、調理、盛り付けなど、総合的に理解する。 ・食文化や食と人の関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身の食生活を分析し、科学的な根拠や、社会的側面を踏まえて改善策をまとめたり発表したりする。 ・調理実習や実験、資料収集などを通して、食の安全や栄養素について具体的に考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・栄養素や食品の知識を生かし、自分や家族の食生活を改善しようとする。 ・授業で得た知識や実習で身に付けた技能を家庭で実践し、生活の充実向上を図る。 ・他者と協働し良好な人間関係を構築しようとする。	・指導事項 実践的・体験的な学習活動を充実するとともに、生活の中から問題を見いだしその課題を解決する過程を重視する。 グループワークを多く取り入れ、他者を尊重する態度、他己評価による自己理解や自己表現の伸長を促す。 ・教材 生徒の学力に即した教員作成プリントや、ゲーム性のある教材も取り入れる。 ・一人1台端末の活用 調べ学習、レポート作成、発表資料作成なでで活用する。	【知識・技能】 ・食と健康のかかわりについて理解している。 ・栄養素の特徴と食品について理解している。 ・日常食の献立作成に必要な知識について総合的に理解している。 ・食文化や食に関わる社会の諸問題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・自分の食生活について分析し、問題点を見出して改善策をまとめたり発表している。 ・調理実習や実験、資料収集などを通して、食の安全や栄養素について具体的に考え、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業を休まず、授業に必要な用具を準備している。 ・食に興味・関心を持ち、自身の食生活の充実向上をしようと、積極的に取り組んでいる。 ・他者と協働し良好な人間関係を構築している。	○	○	○	12 16 合計 70